


【刊夕】 日 七 月 一 十



定 價 一 日 五 錢 一 月 一 十 五 錢 三 月 三 十 五 錢 六 月 六 十 五 錢 一 年 一 千 二 百 五 十 錢

發 行 所 常 磐 日 報 社 石 城 郡 常 磐 町 新 田 一 番 三 號

電 話 三 六 〇 番

代 理 所 石 城 郡 常 磐 町 新 田 一 番 三 號

代 理 所 石 城 郡 常 磐 町 新 田 一 番 三 號

代 理 所 石 城 郡 常 磐 町 新 田 一 番 三 號

労働者の足が パタリと止まり

平驛一日の乗降客数が
五百人から激減

中驛の最近の乗降客の状況を見るに本年八、九月に比し五百人位の減客を見て現在では一日乗降約二千五百名位である減客の中多くの労働者で本年八月九月頃迄は炭礦に就職も幾分あつたため全国より集まれる自由労働者の乗降が約四分の一を占めてゐたものであるが十、十一月に入つてこの種の臨時雇はパタリとまり、むしろ整理されてゐることが

南米行に 獨身者が多い

平署に届出した最近の渡航者の数は平均一ヶ月四八強を示し、昨年比し一ヶ月一名の増加を見てゐる、この多くは南米ブラジルが多く南洋方面は毎月一人位である、昨年までは家族四人五人位の渡航者もあつたが本年は不況の關係が大概單獨で渡航するもの多い模様で

「みのり」行

平町の煙草元賣捌所に於ける十月中の煙草買捌状態は

家族づれがなくなつたのは旅費の工面に苦むしんでゐるためであるとみられてゐる。

平館が値下 入場料を

平町平館では活動寫真觀覽料を特等五十錢一等四十錢普通三十錢を來週から各等十錢値下することになつた

平税務署の 相續税委員

山崎、小林兩氏
大藏省から任命
平税務署の相續税委員は平町山崎三郎泉村小林藏治の兩氏親任中の處今回満期となり昨日付を以つて大藏省から兩氏再び任命さる

海濱地境界 平署が測定

平税務署では過般海濱地の主管區分を行つたが今回更に境界の測定することとなつたが日割左の如くである
●八日午前八時草野村
●九日大浦村
●十日十一

日四倉町十三日豊岡村十四日江名町十五日錦村十六日勿來町

泥棒野郎と 悪罵され告訴

平町七丁目製餅業小野寺金吉は五日些細の事から店子の田久要吉と衝突し要吉に「泥棒野郎」と悪罵されて烈火の如く怒り本日憤然平署に告訴した。

年中行事の マラソン

警城中學校にては年中行事のマラソン競走を來る十二日決行する事になつたが當日は午前九時校門を出發長橋町から谷川瀨方面の山岸傳ひに新川町に出で本町通りを真一文字に疾走して校門のゴールに入る豫定である。

磐女の遠征 水戸市へ

磐城高等女學校のバスケット及びバレー兩部選手は九日新妻、長嶋兩教諭に引卒されて水戸市へ遠征を試み高女及び師範と對校試合を爲す由。

鳥小屋から 宮の火事

住宅を半燒
石城郡内郷村大字宮字町田卷幸一(三)方から七日午前五時頃小屋から發火住宅を半燒、消防組駆付鎮火したが損害約百圓にて原因は鳥小屋の保温器から失火したものであると。

薬剤士發會式 石城郡

郡藥劑士會發會式は十六日午前十時から平署會議室に開催更に午後一時より郡藥業會組合を開催の筈。

食はんが爲めから 村の娘達が女給に

從來都會憧憬心理とは傾向が違つて來た
痛しい社會相の断面
經濟逼迫の影響は農村生活に殊に著しい、酒を廢めた冠婚葬祭の虚禮を廢した、入營除隊兵の祝宴を廢した等々をこころに起るこれ等悲惨な聲と共に農村生活のゆとりは日に／＼剝

カフエーの女給を志願するものが漸次殖えて來た現在平町にもかうした理由のもとに農村から出て來て荒くれた手を白いエプロンの下に忍ばせて不馴れた應接に従つてゐる女給が四五名も居るがこれ等の女給は華やかな町の灯を慕ふて農村を飛び出して來た十年前の村の娘たとは全くその質を異にし、せめて農閑期たる十一月より翌春三月

主人に無理を云はれ 自由廢業を願ひ出づ

平署に娼妓駆け込む
中堅農民講習 石城郡中堅農民講習會は二十八日の兩日警崎村玉川村で開催することになつた、同日午前九時湯本驛集合の由。

新川橋が竣工 平町

字鎌田町より飯野村に通ずる町道新川の架橋工事は雨天のため豫定より遅れたがいよいよ完成したので十一月六日平町菅原土木課長及び荒川鈴木の兩土木委員立會検査を了した。

石城軟式 野球大會

第五回石城軟式野球大會は先月二十七日の所雨天の爲め今日九日曜日午前八時より警中グラウンドに於て決行すると。前回優勝チームは磐炭礦務課

平町人事

出 生
●南町七二八 木政吉氏二女友子
●舊城跡一 吉田光夫氏四女友子

